

【奨 励 賞】



氏 名 RIA VENTURA ARLOS
(リア ベンテウラ アロス)

国・地域 フィリピン 

在日期間 1年9ヶ月

学 校 九州日本語学校

タイトル : 思いがけない祝福

人生にはときどき、思いがけないことが起きます。思いがけないことがあるからこそ、人生は面白くなると思います。私にも予想外に起こったことがたくさんあります。でも、その中で一番予想外なのは今の私です。

私の家族はあまり裕福ではありません。子供の頃は、何か机の上にある時だけ食べ物を食べました。好きな物とか新しい服とか、全くありませんでした。私と2人の姉は常に近所の人や親類縁者から要らない物をもらっていました。私が生まれる前、家族は漁業をしていました。私の故郷は海の近くで、一番多い仕事は水産業です。でも、父は漁業は不十分だと思い、家族の生活が良くなるように、漁業をやめて他の仕事を探しました。ゴミのリサイクルは漁業より利益が大きいという話を聞き、父もこれを始めました。最初は父と母だけでしていましたが、だんだん私と2人の姉も手伝うようになりました。学校が休みの時、私達はゴミ捨て場に行って何か良いものがあれば、それを取って売りました。そんな仕事をしているせいで、私の肌はとても黒かったです。そのため、子供の時は周りの子供達によくいじめられました。だから、私は他の人を信じられず、いつも離れたい気持ちがありました。友達がいなくて、いつも一人で遊んでいました。でも、高校生が終わるとき、私は自分に言いました。「ずっと、こんな生活はダメだ。いつも弱いから、他の人にいじめられた。もっと自分に自信を持てるように大学では素晴らしいコースを選ばなきゃ。」それで、大学では警察官になるために、犯罪学を選んで勉強しました。

大学生の時には色々な新しくて面白いことを勉強しました。だんだん自信を持てるようになり、親友もできました。親友のおかげでいじめられることも減りました。しかし、大学を卒業しても、すぐには警察官になれませんでした。お金を稼いで、両親を手伝いたかったのに、パートの仕事も見つけれませんでした。家で何もしないよりはましだと思い、仕事を探しながら、無料で学べるコースで勉強しました。フィリピンでは、どんな仕事でも色々な資格があったら、いい仕事ができ昇進も簡単です。医療記録転写士の勉強をしながら、日本語を勉強しました。犯罪学免許の試験も受けたかったので、

大変でしたが、この3つを一緒に勉強しました。

私の田舎では色々な奨学金プログラムがあります。一昨年の11月2日、学校の面接に合格し、日本に留学できることになりました。こんな素晴らしいことが私の人生に起きるなんて、とても信じがたく、涙が止まりませんでした。

私は今、日本にいます。日本に来てから、楽しいことばかりではなく、辛いことや悲しいこともありましたが、私は、今の生活が好きです。子供の頃に全く買えなかった物を買えます。食べたいと思う物を食べられます。行きたい場所があったら、休みの日に行くことができます。フィリピンだけでなく、他の国から来た友達もできました。そして、何より嬉しいのは、アルバイトで貯めたお金で、両親にプレゼントを送れることです。子供の頃の夢がだんだん叶っていき、本当に幸せです。ですから、今こそ良い未来のために、どんなことがあっても前に進みたいです。